

闇があるから光がある
闇から出てきた人こそ本当に光の有難さがわかる。世の中は幸福ばかりが満ちているのではないことを忘れてはならない。耐えぬく困難が大きい程幸福というものも大きなものとなる。

NPCCニュース

昭和54年9月(第158号)
発行者 西日本プラント工業株式会社
総務部 東 宗 利
福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号
電話 代表 731-4321
印刷 有限会社 今井印刷所



第6回社内交流スポーツ競技会 創立25周年記念 運動会 開催 16チーム・1,371人参加



開会式で選手宣誓する小島さん(唐津)

〔本店＝8月26日〕当社の年中行事としてすっかり定着した「社内交流スポーツ競技会」が、創立25周年を迎えた。この「運動会」という形で8月26日午前10時から福岡市東区の県立香椎工業高校グラウンドで盛大に催された。

この「社内交流スポーツ競技会」は、年に一度各所の従業員が一堂に会し、スポーツを通じて交友を深めようと昭和49年に第1回としてソフトボールを行って以来、51年の第3回にはバレーボールも加え、52年の第4回には応援コンクール、53年の第5回には昼食事を利

用しての玉入れ、百足競争をも加え、参加人員も第1回の120人余りから第5回には1,000人を越し、従業員のみならず、家族も含めた交流の場と成長してきた。

今年は、創立25周年記念としての「運動会」となったため、より一層熱意が高まり、16チームの選手、応援団、家族を合せて1,371人が集まり、白熱した競技が展開された。

各事業所のテントでは久しぶりに会う友やその家族とのなごやかな交歓風景が見られた。

(2・3面関連記事)

昭和54年度 第30回 全国労働衛生週間 (10/1～10/7) 「環境改善と健康管理に取り組み さらに進めよう健康な職場づくりを！」

労働衛生の基本は、職場における健康に有害なものをすべて排除し、働きやすい快適な作業環境を作り健康の確保と増進を図ることにある。そのためには、トップ、管理監督者から作業者に至るまで全員が一体となって作業環境を見直し、有害環境があればそれを改善し、あわせて健康障害の防止、健康の維持、増進を

組織的に推進する必要がある。そこで第30回全国労働衛生週間を契機に「環境改善と健康管理に取り組み、さらに進めよう健康な職場づくりを！」というスローガンを掲げて進んでより良い環境と健康づくりをしよう、準備期間(9月20日～9月30日)と本週間(10月1日～10月7日)の実施要領を決めている。

- 2日 健康管理の日
 - ①健康要注意者のチェック
 - ②救急医薬品の点検整備
- 3日 保護具測定器の点検整備の日
 - ①保護具の点検整備
 - ②測定器の点検整備
- 4日 作業環境点検整備の日
 - ①全職場の点検
 - ②整理、整頓、清掃、清潔
- 5日 寮施設の衛生状況点検整備の日
 - ①寮施設全般の衛生状況点検
- 6日 衛生週間反省の日
 - ①衛生委員会等の開催
 - ②準備期間及び本週間中の実施事項のまとめと反省
- 7日 家庭衛生啓蒙の日
 - ①住居環境の見直し
 - ②家族の健康状態の把握

- 実施事項**
- 準備期間(9月20日～9月30日)
 - ①PR用品(行事計画、立看板、ポスター等)の掲示および配布
 - ②有害物質(職場で使用する特定化学物質、有機溶剤等)の把握
 - ③作業(有害物質にさらされる恐れのある作業)方法、作業環境(衛生条件)の見直し、
 - ④健康管理(健康診断、健康づくりのための体育活動等)の充実
 - ⑤労働衛生教育の実施

- (ア)有害物質の取扱、保護具の使用法
- (イ)電離放射線の被爆管理
- (ウ)健康増進、清潔の保持
- ⑥衛生管理体制(衛生委員会の開催等)の充実
- ⑦保健設備(清潔保持のための設備、休憩、休養設備、寮、食堂等)の整備と充実
- 本週間(10月1日～10月7日)
 - 1日 衛生意識高揚の日
 - ①所長挨拶
 - ②衛生週間行事の説明

イラク・ハルサ発電所へ メンテナンス要員として 山鹿欽治さんを派遣

〔本店＝9月5日〕当社は、山鹿欽治さんをメンテナンス要員として9月5日にイラク・ハルサ発電所へ派遣した。

これは、三菱重工業株式会社長崎造船所の依頼によるもので、同所現地駐在者と協力し、メンテナンス推進のための指導要員として、約10ヶ月の予定でタービン関係の

仕事を担当することになっている。イラク・ハルサ発電所1号機～4号機のうち1号機と3号機のタービン据付関係の建設工事は53年2月から当社が担当したもので、現在は3号機のタービン通気も終え最後の仕上げを行っている。



家族の見送りを受ける山鹿さん(右)